



多様な医療ニーズに対応できる

総合的な幅広い研修が可能

一人一人に合わせたきめ細やかなプログラムの実行

綾部市は人口3万2千人弱ですが、綾部市立病院では昨年度に手術は1,469件、救急車搬送は1,479件、時間外受診は6930人、人間ドック2,347件を数え、まさに地域の中核病院です。当院はそのような環境ですので、通常よく見られる疾患から珍しい疾患までパラエティーにとんだ症例を経験できる初期研修に適した病院です。また指導医だけでなく、若手医師、看護師、コメディカル、事務職も研修医の教育に積極的であり、研修医をしっかり育てようという気概に満ちており、充実した研修が受けられます。

#### ● 病院概要

所在地	京都府綾部市青野町大塚20番地の1
開設者	綾部市
開設年	平成2年8月1日
病院長名	高升 正彦
病床数	206床
医師数	常勤 32名 非常勤 7名(常勤換算)
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、心血管外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科

#### ● 研修プログラムの方針及び特徴

方針	近年、医学の進歩とともに日本の医療は高度に専門化と細分化が進んでいます。一方、高齢化社会の到来や生活習慣病の増加によって疾病構造に大きな変化がみられ、国民の医療に対するニーズはますます多様化、複雑化してきています。そして医師に対しては、高度な専門的医療に加え、総合的かつ適格に対応できる診療能力の2面性が求められるようになってきました。このような医療情勢のなか、全人的な医療サービスを提供できる優良な医師の養成が急務となっています。臨床研修制度の目的は基本的技術の習得はもとより、プライマリ・ケアをはじめ多様な医療ニーズに対応できる総合的な幅広い診療能力を習得し、人間味溢れる医師を養成することにあります。
特徴	当初の1年間は必修科目として内科6ヶ月、麻酔科2ヶ月研修し、選択必修科目の外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科の中から2科目以上を選択し4ヶ月研修する。救急は2年を通して随時研修し、基礎的な知識と技術の習得をめざす。2年目は医療と社会の関わりについての認識を深めるため、1年を通じて地域医療を研修し、精神科の到達目標を達成するため協力型臨床研修病院で2週間の研修を必修とする。その他の期間は全ての診療科から自由に選択した科目を研修し、より幅広い知識の習得をめざす。これらの研修プログラムは研修医の希望により変更可能であり、一人一人に合わせたきめ細やかなプログラムを実行しています。

#### ● 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合内科・専門内科 循環器、呼吸器、消化器、神経、内分泌						救急部門		選択必修 科目A		選択必修 科目B	
2年次	救急医療 選択科目 救急医療・地域医療											

プログラム責任者 診療部長 一島 茂樹

#### ● 募集要項 (2019年度採用)

採用予定数	2名	出願期間	6月1日～8月29日	試験日	随時
-------	----	------	------------	-----	----

#### ● 待遇・処遇

雇用形態	非常勤
給与	1年次 430,000円/月 2年次 480,000円/月
手当	副直手当:1年次 10,000円/回 2年次 15,000円/回
勤務時間	8:30～17:15
休暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):15日 夏期休暇:有 年末年始:有
社会保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	副直 4回程度/月(指導医又は上級医と組んで行う)
宿舎	単身用8戸 世帯用2戸
その他設備	研修医室あり 国内図書:1,800冊 / 国外図書:120冊 国内雑誌:95種類 / 国外雑誌:25種類 Medline等の文献データベース:有 利用可能時間:00時00分～24時00分

#### ● 問い合わせ先

担当部署	事務部管理課	担当者名	村上 龍児
電話番号	0773-43-0123	Eメール	murakami.r@ayabe-hsp.or.jp